

「まちづくり懇談会」意見一覧(城西コミュニティセンター)

番号	意見趣旨	回答趣旨
1	3年・5年・10年先の財政シミュレーションを教えてください。厳しい財政状況の中、市民も要望するばかりでなく、また市も市民や自治会にして欲しいことを明らかにすべきである。	このままでは、平成20年度に財政が破綻する。それを回避するため、18年度から19年度にかけて人件費の削減やあらゆる経費の見直し、市民サービスについても他団体と比較して高いものは見直す。市民の協力をお願いする。
2	財政破綻を1年でも先に延ばす手立てはどう考えている？また、公共施設の管理運営費用も切っていく考えはあるか？	人件費の削減、事務事業や市民サービスの見直しを行っていく。公共施設についても、民間委託も視野に入れ経費削減に努める。
3	競艇事業について、将来的に廃止することもあるのか？廃止した場合、従業員の処遇はどうするのか？	赤字を出さないよう費用対効果を考えながら努力していく。
4	自治会組織の確立が重要だが、自治会加入率は低い。市はどのように対応を考えているのか？	転入者にパンフレットを渡したり、連合自治会に協力いただいたりしているが、非常に厳しい状況である。
5	大手町周辺は、広い歩道が駐車場になっている。市や警察は、どのように規制しているのか？	市も何度か警察にお願いに行っているが、取締りがはじまるといなくなり、取締りが終わるともどってくる。イタチごっこになっている。引き続き警察には協力をお願いしていく。
6	中心市街地の活性化については、新市でどう取り組むのか？	商店街の人たちには、ぜひ立ち上がって昔の元気を取り戻していただきたい。市も市民の知恵を借りながら、地道に努力していきたい。
7	コミュニティバスは、新市内を自由に行き来できるのか？	現時点では旧1市2町のそれぞれの地域を回っている。来年4月までには、運行ルートや運行時間等を見直したい。
8	防災の非難場所が、城西小学校の他、西中学校、丸亀高校、城西高校になっているが、西中に避難したいという人が多い。西中は老朽化している。	財源の問題があるが、18年度からは建替えに向けて前に進む予定である。
9	自治基本条例は、どのような中身になるのか？	協働のまちづくりを進めていくうえで、市民参画ができる自治のあり方を制度化していく。情報を共有して市民参画を発展させていこうという自治基本条例の理念を受け、これからのワークショップやパブリックコメントにより市民と一緒に考えていく。
10	まちづくり懇談会は、今後も進めていくのか？	要望があれば時間の許す範囲内で計画していきたい。
11	まちづくりワークショップは20名を募集しているが、地域が広がっているため人数を増やしてはどうか？	公募市民20名、各コミュニティから1名、市職員も募集している。ワークショップはひとつの班が6・7人で作業を進めるのが効率的といわれている。
12	警察署の管轄区域が市内で統一されていない。いつ統一されるのか？	来年4月から新市内全域が丸亀警察署管内となる。
13	職員だけでなく部も減らすべきである。	職員の適正化等については、適宜見直しをしていく。
14	通学路に変態が出るという問題が起きた。小学校に変な人が入ったといったことはないか？	城西校区ではない。出たときは情報を把握して育成センターに情報が入っている。
15	今まで自治会で配布していた広報が業者委託となっている。財政が厳しいならボランティアで配ってもらおうべき。	自治会の加入率が低いということもあり、合併協議により業者委託とした。これも永続的にこうするというのではなく、協働の観点から市民の方の協力を得ることもひとつの方法として検討していく。
16	丸亀城は木造天守で全国12のうちのひとつ。非常に貴重な存在。今後のまちづくりは、「木造天守を持った城下町」を核として施策を考えていただきたい。	
17	妙法寺にある蘇鉄図は、与謝野蕪村が2年間滞在したときに描いた絵。また、妙法寺には歴史的資料もたくさんある。お城の石垣もあわせて観光ポイントとして使うなど活用を考えていただきたい。	
18	ごみの有料化に伴い、指定袋以外の袋に入れてごみを出す人が出てくる。その対策はどう考えている？	有料化により1番懸念しているのは違反ごみと不法投棄。徹底的なパトロールで取り締まっていく。

19	警告シール(イエローカード)を貼ったごみ袋が1週間もそのままになっている。取りに来てくれないのか？	注意を促すため一定の期間は置くようになっているが、何とかして欲しい場所であれば遠慮なく言っていただきたい。
----	---	---